

光プロジェクト 「第2回 教育学部系進学研究会」(茨城大学との連携)

○ 実施日 令和元年12月 7日(土) 13:30~15:30

○ 実施場所 為櫻学習館1F多目的ホール

○ 参加生徒 40名(1年 14名・2年 23名・3年 3名)

今年度も、茨城大学から小川 哲哉 教授(教育学部)と2名の学生の方々(岡野 里佳子さん:教育学部教育実践科学コース2年,水谷 太亮 さん:工学部機械工学科3年)をお招きして、第2回教育学部系進学研究会を実施しました。

小川 哲哉 教授は、茨城大学HPに掲載された「特に学校教育の『理論=実践』問題に関心があります」とのお言葉どおり、常に教育に対してアクティブなアプローチを実践されている方です。本県で高校2年生が実施している「道德プラス」の授業構築にも、指導的な立場に関わって来られました。今回も昨年同様、各班に分かれた生徒たちが、タブレット端末やスマートフォンを使用して教育に関する動画を作成し、プレゼンテーションを行うというミッションを与えてくださいました。

そして小川教授をサポートするのが、まずは工学部の水谷さん。タブレットなど最新機器に精通されているところを小川教授に見込まれ、何と大学の講義中にスカウトされて現在教授のお仕事を手伝われているそうです。小川教授(北海道,名寄高校出身)とは同郷(北海道,室蘭栄高校出身)のよしみもあり、息もぴったりでした。そしてもう一人は本校の卒業生である岡野さんで、昨年度に続いての参加です。高校時代はチアリーダー部に所属され、3年次の級監は河野先生だったという先輩であり、現在小川教授のもとで勉学と研究に取り組んでおられます。

研究会は小川教授による全体講話(「教員養成の新しい姿 ―教育実践科学コースを例にして―」)から始まり、その後8グループ5名ずつのグループに分かれて動画作りが始まりました。初めてのメンバーとの企画立案,学習館や本館教室へ出向いての動画撮影(ロケ),岡野さんや水谷さんにご教示いただきながらの動画編集と瞬く間に時間は過ぎ去り、各班によるプレゼンテーションが終了する頃には時刻も16:00を回っていました。小川教授はその間終始笑顔で生徒たちの取り組みを見守り、適切なアドバイスを送ってくださいました。ちなみに参加生徒にはリピーターも多く含まれていたのですが、昨年度とは違ったメンバーで、新鮮な気持ちで取り組むことができたようです。

今年度も活気あふれる、充実した研究会を体験させていただきました。小川先生はじめ、学生のお二方に対し、心から感謝申し上げます。ありがとうございました。



👁 生徒のアンケートより

設問1 この行事に参加した理由は何ですか。

- 教員という仕事に興味があったから。また、自分の職業の知識を深めたかったから。
- 教師になるため。 ○教育学について知りたいと思ったから。
- 教育学部に興味があったから。 ○教育学部、また茨城大学に興味を持っているから。
- 去年も参加してとても興味のある内容だったから。
- 第一志望が茨城大学の教育実践科学コースだから。
- 教育学部に興味があり、自分の進路の決定に役立てるため。 小川教授の授業を受けたかったから。
- 将来教員を目指しているので、そのための良い機会になると思ったから。
- 教育学について、経験や知識を広げたいから。

設問2 参加して下さった茨城大学の小川教授、および学生の方々から、感じたことや学んだことを書いてください。

- 小・中・高・特とそれぞれ違った対応の仕方があること。しかし、全ての校種において「子供が好き」ってことには変わらないんだなと思いました。
- 小川先生のことを見ていて、教師は真面目なだけではなくて、生徒一人一人のことをしっかりと気にかけてくれる人間じゃなければならないんだなと思いました。
- 小川教授は場を和ませつつ、うまく私たちに情報が伝わるように配慮していて、プロだと思った。 学生の方々は、努力している様子をよく見ることができた。
- インターネット化は進んでいるんだなと思った。

- 今の時代の教師に求められていることは、生徒のいじめの解決や間違っただけのことに對してすぐに怒らないことだということが分かった。
- 教師が必要なものなどについて知ることが出来た。 ○改めて教師は素晴らしいと思った。
- これからの教育についてしっかり考えをもって私たちにもわかりやすく説明してくれてよかった。
- アクティブラーニングが大事。他の人から意見を取り入れる。
- 教授の豊かな発想力や学生の方達の細かい指摘がたくさんあり、とても良い刺激となった。
- 自分で動く自主性がとても大事なんだと感じた。 ○学ぶことに楽しさを感じていました。
- 人との接し方、必要とされる先生像、将来について考えるきっかけになった。1つの番組を伝えるのも多くの時間と手間がかかり、1人ではできないことを改めて学んだ。5分の番組を作る予定だったが1時間半くらい作っても一分半くらいにしかならず苦労した。だが、様々なことが学べて、良い機会になったし、楽しかった。
- 教育が変化していく中で、教員になる上でICTの知識や技術が必要だと感じました。ただ勉強を教えるのが上手いだけがいい教員ではないと改めて感じました。
- 従来の紙とペンで学ぶ形式ではなく、タブレットを使った授業形式のメリットを学ぶ事ができた。また、実際にタブレットを使ってコミュニケーションを取りながらグループ活動を体験できたので将来タブレットでの授業形式をイメージできた。
- 私が目指す大学の先生や学生さんと話すことで大学のことを知れたからよかった。
- iMovie の分からないところを丁寧に教えてくださり、とても分かりやすかった。現代の教育問題を改善するためには何をしたらいいのかを考えることができた。教育現場でも最新テクノロジーが活躍することを学んだ。
- 小川教授からは生徒を引きつける力を感じた。聞いていて面白かったり興味をもてたり、それによって活動もよりアクティブにできて、自分もそんな力を身につけて教員になりたいと思った
- 教員は生徒に寄り添える存在であるべきだということが分かった。また下妻一高からもそのような教員を目指して頑張っている方もいてすごいと思った。

設問3 今回の事業に参加して、「教職」に対する理解度は深まりましたか。

☐ 未回答を含める

回答数32



選択肢1	20人(62.5%)	大いに深まった
選択肢2	11人(34.4%)	深まった
選択肢3	1人(3.1%)	どちらともいえない
選択肢4	0人(0.0%)	あまり深まらなかった
選択肢5	0人(0.0%)	深まらなかった

設問4 今回の事業に参加して、「教育学部」での学びに対する関心は高まりましたか。

☐ 未回答を含める

回答数32



選択肢1	19人(59.4%)	大いに高まった
選択肢2	11人(34.4%)	高まった
選択肢3	2人(6.3%)	どちらともいえない
選択肢4	0人(0.0%)	あまり高まらなかった
選択肢5	0人(0.0%)	全く高まらなかった

設問5 今回の事業に関する感想や、参加して下さった講師の方々へのメッセージを記述してください。

- とても為になりました。なかなかこういった機会に出会うことは難しいことなので、とても良かったです。講師の皆様はリアルな教員事情を話してくださって感謝しています。またこのような会に参加してみたいと思います。
- 普段体験できないことに取り組めたので、良い研究会にできたと思いました。また、大学教授の小川先生や大学生の方々等、普段あまり話す機会の無い方々とも面識を持てたのも良かったです！
- 今回の事業で、まとめることと伝えることの難しさをよく知ることができました。
- とても有意義な時間を過ごせました。色々な事を教えて貰ってとても嬉しかったです。ありがとうございました！
- グループで動画を作るのは自分たちも楽しかったし、他のグループのを見るのも楽しかったです。すごく楽しい時間でした！ありがとうございました^^*
- 今回、映像を作ることを通して今教職が抱えている問題などに真剣に考えることができ、今後に活かせる良い経験となりました。ありがとうございました。
- 難しかったけれど、初めて話す人達とも協力できて嬉しかったです！貴重な機会をありがとうございました。
- 先生方のお話は分かりやすく、またジョークを途中で挟んだり、聞いていて楽しいお話でした。グループワークの際にタブレットについて質問すると、分かりやすくハキハキとした声で教えてくださるので、時間に焦ることなく進めることができました。この度はお忙しい中ありがとうございました。
- 色々な生徒の気持ちを理解できる教員になりたいと感じました。そのために、高校生の間に多くの人と関わって色々な価値観に触れたいと思います。
- お忙しい中、下妻一高にお越し頂きありがとうございました。小川教授や茨城大学の学生の方々の授業はとても面白く分かりやすかったです。自分の教育への関心を深めるとともに、よりいっそう自分も

教師になりたいという思いが強くなりました。今回の経験を自分の進路に生かしていきます。本当にありがとうございました。

○初めての参加で最初は緊張していたけれど、楽しく活動することができました。普段は自分から発言する事があまり得意ではないけれど、今回の活動ではたくさん発言することができたので、普段の学校の授業などでも発言するきっかけを作れたと思います。

○難しい講話を聞くのかと思っていたら、グループで動画を作るというアクティブラーニング形式の授業だったのでとても楽しく学ぶことが出来ました。将来教員になる時は今日のことを生かせるように頑張ります。

・とても楽しいオリエンテーションでした。また、初対面の人とのコミュニケーションの機会を作ってくれたので、それもいい経験になりました。本当にありがとうございました。

